

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 7 月 5 日(2022.7.5)

【公開番号】特開 2021-16716(P2021-16716A)
【公開日】令和 3 年 2 月 15 日(2021.2.15)
【年通号数】公開・登録公報 2021-007
【出願番号】特願 2019-135605(P2019-135605)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 1
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【0 0 0 1】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

従来、始動口への入賞に基づいて変動表示ゲームを実行することが可能な遊技機が存在している（例えば、特許文献 1）。

30

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 4】

しかしながら、遊技機の管理性やメンテナンス性に改善の余地があった。

【手続補正 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 5】

40

本発明は、遊技機において、遊技機の管理性やメンテナンス性を向上させることを目的とする。

【手続補正 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

本発明の代表的な一形態では、変動表示ゲームを制御可能な制御手段を備える遊技機において、前記制御手段は、電源遮断前の情報を保持可能な情報保持手段と、当該遊技機の性能に関する情報を表示可能な性能表示手段と、を備え、前記変動表示ゲームの停止に対応して、第1信号を当該遊技機の外部に出力可能であり、電源投入に対応して前記情報保持手段に保持された前記情報の正当性判定を行い、当該正当性判定により前記情報が異常と判定されたことに対応して、第2信号を当該遊技機の外部に出力可能であり、前記性能表示手段で異常を報知可能である。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

10

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

本発明の一形態によれば、遊技機の管理性やメンテナンス性を向上させることができる。

【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 補 正 対 象 項 目 名 】 全 文

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

20

【 特 許 請 求 の 範 囲 】

【 請 求 項 1 】

変動表示ゲームを制御可能な制御手段を備える遊技機において、

前記制御手段は、

電源遮断前の情報を保持可能な情報保持手段と、

当該遊技機の性能に関する情報を表示可能な性能表示手段と、を備え、

前記変動表示ゲームの停止に対応して、第1信号を当該遊技機の外部に出力可能であり、

電源投入に対応して前記情報保持手段に保持された前記情報の正当性判定を行い、当該

正当性判定により前記情報が異常と判定されたことに対応して、第2信号を当該遊技機の

外部に出力可能であり、前記性能表示手段で異常を報知可能であることを特徴とする遊技

30

機。

40

50